

G Suite for Education（なしだいふぞくオンライン）の活用事例 英語科

1年生

NEW HORIZON Daily Scene 4 ウェブサイト（全4時）

目標：自分の学校について、3文以上の英語で書くことができる。

使用アプリケーション：Google サイト

	内容	なしだいふぞくオンライン
導入 第1時	<ul style="list-style-type: none"> モデルの提示 目標の確認 出身小学校についての情報収集及び英文づくり 	<ul style="list-style-type: none"> Google Classroomにログインし、教師が作成したGoogleサイトのファイルを閲覧する。（A1） Google Chromeを使って、出身小学校の情報を収集し、紹介文をテキストで入力する。（B1, B4）
制作 第2時 第3時	<ul style="list-style-type: none"> Googleサイトを使って、出身小学校のことについて調べた内容をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のGoogle DriveにGoogleサイトのファイルを作成し、各自で工夫を凝らしてウェブサイトを編集する。（B1, B4）
発表 第4時	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトの公開と相互評価 振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 作成したGoogleサイトのファイルを公開し、生徒同士で作品を紹介し合う。（D3） 授業後、教師が生徒の作品を評価する。（D2）

学校におけるICTを活用した場面 A1,B1,B4,C1,D2,D3

A1 教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

B1 個に応じる学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

B4 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作

C1 発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

D2 教師による個別評価



D3 生徒と生徒の相互評価



活用効果

- ①モデルを閲覧することで、目指す作品の完成像をイメージしやすくなる。
- ②生徒それぞれのペース、創意工夫で作品づくりを進めることができ、途中で保存、再開することができる。
- ③印刷などの準備をせずに、生徒同士の作品を見合うことができる。
- ④様々な視覚効果を使って、簡単にウェブサイトづくりができる。
- ⑤データをストックしておくことができる。（デジタルポートフォリオへの応用が可能）